

中山間地に適する飼料用米品種として中生の「みなちから」を選定					
[要約] 中山間地における飼料用米品種として、いもち病と倒伏に強く、極多収の中生品種「みなちから」が適する。					
佐賀県農業試験研究センター 三瀬分場山間稲作研究担当			連絡先	0952-56-2040 nougyoushikensenta@pref.saga.lg.jp	
部会名	普通・特用作物	専門	品種	対象	水稻

[背景・ねらい]

中山間地は圃場の条件が悪く、生産調整の作物として大豆等の作付けが難しいことから、農業機械等の新たな投資が不要な飼料用米の作付が推進されている。中山間地では飼料用米として主食用米「さとじまん」が栽培されているが、現場から栽培特性の優れた飼料用米品種の導入が求められている。そこで中山間地に適する飼料用米品種を選定し、その特性を明らかにする。

[成果の内容・特徴]

本県の中山間地に適する飼料用米品種は収量性、耐倒伏性、耐病性に優れる「みなちから」である(表1)。「みなちから」は「さとじまん」と比較して次のような特性をもつ。

1. 出穂期は3日早く、成熟期は7日遅い中生品種である。(表2)。
2. 稈長は4cm短く、倒伏は‘かなり強’である(表2)。
3. 千粒重は約1g重く、収量(粗玄米重)は12%多い(表2)。
4. いもち病には、真性抵抗性 *Pib* を持ち、発病はみられない(表2、表3)。
5. 玄米はやや大粒で一般食用品種との識別性がある(図1)。

[成果の活用面・留意点]

1. いもち病に対して真性抵抗性遺伝子を持ち、発病がみられないが、菌のレースが変わると発病することから、発病をみたら一般品種と同様の防除が必要である。
2. 「みなちから」は、他の品種と比べると稲こうじ病の発生が多いことから必要に応じて薬剤防除を行う。
3. 「みなちから」はトリケトン系 4-HPPD 阻害型除草成分(ベンゾビスクロン、テフリルトリオン、メソトリオン)に感受性が高いため、それらの成分を含む除草剤は使用しない。

[具体的データ]

表1 「みなちから」の評価概要

品種名	2014					2015				2016					総合判定	
	収量	成熟期	脱粒性	倒伏性	病害	収量	成熟期	倒伏性	病害	収量	成熟期	脱粒性	倒伏性	穂発芽		病害
みなちから	◎	○	○	◎	○	◎	○	◎	○	◎	○	○	◎	○	○	◎
夢あおば	×	○		◎	○											×
モミロマン	○	×	○	○	○											×
タカナリ	○	○	×	◎	○											×
ホシアオバ	○	○	○	△	○	○	○	△	○	○	○	○	△	×	○	×
べこあおば	○	○	○	◎	△	○	○	◎	△	○	○	○	◎	○	△	△

注) 記号は◎優れる、○やや優れる、△やや劣る、×劣る。

表2 「みなちから」の生育・収量特性 (2014-2015年)

品種名	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m ²)	粗玄米重 (kg/10a)		玄米 千粒重 (g)	倒伏 程度 (0-5)	玄米 タンパク 質含有率 (%)	脱粒性	穂 いもち (0-5)
						標肥	多肥					
みなちから*	8.06	10.11	70.0	20.9	288	745	781	26.1	0.0	6.4	難	0.0
夢あおば	7.26	9.20	71.3	19.6	291	614	690	26.6	0.0	6.6	難	0.0
モミロマン	8.16	成熟期未達	86.4	22.0	305	678	771	24.8	2.5	6.0	難	0.0
タカナリ	8.11	10.13	70.7	23.7	276	661	782	22.6	2.0	7.3	やや易	0.0
ホシアオバ*	8.08	10.01	88.7	19.8	275	690	746	31.0	1.5	6.3	やや難	0.0
べこあおば*	7.31	9.22	64.5	19.2	316	675	745	33.5	0.0	6.6	難	0.0
(対)さとじまん*	8.09	10.04	74.1	19.6	361	634	707	25.1	0.0	6.2	難	0.5
(比)さがうらら*	8.11	10.05	76.8	19.2	420	611	661	22.0	0.0	6.2	難	1.5

注 1) 施肥は窒素成分：標肥 9.6kg/10a、多肥 12.8kg/10a (いずれも全量基肥:LPBB722)。粗玄米重以外は標肥での結果。

2) *品種は2014-2015年の2ヶ年平均値、その他品種は2014年の値。

3) 移植日は5月18日。

表3 「みなちから」の病害並びに穂発芽性 (2016年)

品種名	穂いもち (0-5)	稲こうじ病 (0-5)	ばか苗病 (0-5)	穂発芽 (0-5)
みなちから	0.0	2.0	0.0	0.0
ホシアオバ	0.0	2.0	0.0	2.5
べこあおば	0.0	0.0	3.0	0.0
(対)さとじまん	2.0	0.0	0.0	0.0

注 1) 施肥は窒素成分：13kg/10a(基肥6-穂肥3-晩期穂肥4kg/10a)。

2) 移植日は5月16日。



図1 玄米と粗の形状 (上段：粗、下段：玄米)
左：「みなちから」 右：「さとじまん」

[その他]

研究課題名：中山間地における飼料用・米粉用米品種の選定と栽培法の確立

予算区分：県単

研究期間：2014～2017年度

研究担当者：平博之、金子正寿、甲木章